

さがみの水

主な内容

2面

- 携帯アプリで、料金を簡単お支払い
- 平成28年11月期企業庁職員功績賞

3面

- 水道フレンズになろうよ♪
- 平成28年度作品募集の結果発表
- 水道100歳時代

4面

- プレゼントコーナー

神奈川の水守り人

熊本地震に係る 水道応急復旧支援チーム

神奈川県営水道は昨年4月に発生した熊本地震に「水道応急復旧支援チーム」を派遣。今号では、現地で支援に従事した職員に活動の内容などをインタビューしました。

災害時の支援協力は、全国から。

全

国の水道事業体は、地震などが発生した際に、支援の要請を受けてすぐに活動できるように、各地方単位、都道府県単位などで普段から連携し支援体制を整えています。

県営水道は、平成28年5月に漏水調査のエキスパート職員と水道工事業者を熊本市に派遣し、漏水調査・応急復旧作業を行いました。

6日間で約2,000戸を調査。通常なら1日に1件見つかるかどうかの漏水を22件発見・修理しました。

漏水調査の難しい点は？



今回の支援は、地表面に現れない水道管の水漏れ箇所を探し修理するもので、被災地の方々が一日も早く日常生活を取り戻せるよう

チーム一丸となって取り組みました。

水漏れ箇所は、「漏水の音」を聴き取る機器を付けて探し出すのですが、この調査の難しい点は、周囲の車の騒音や川・下水などの水の音と、漏水の音とを聴き分けるのに技術と経験が必要なことです。

現地の支援活動で 感じたことは？

知らない土地での支援活動でしたが、現地の方々から掛けていただい

た温かい言葉と笑顔は、作業を行う上でとても励みとなりました。そして、水道事業に携の一員として、「生活に欠かせない水を守る」という使命や責任の重さを改めて感じました。

お客さまに ぜひ伝えたいことは？

もしも、神奈川県内で大規模地震が発生し、私たちの水道施設が被害

を受けた際には、一日も早く復旧できるよう全力で取り組みます。そのために、普段から職員一人ひとりが真剣に訓練を重ねて、より一層、災害時の対応力を身に付けていきます。

お客様にも、普段から飲料水の備蓄や水のくみ置きをするなど、大規模地震に備えていただければと思います。



熊本地震 震度7。 くらしの水を守る、 被災地支援活動。



◀ 地中の水漏れ音を聴き取り、漏水箇所を発見する機器。自動車音や周辺の騒音とわずかな水漏れ音とを聴き分けて、漏水箇所を特定します。



写真：被災地での漏水調査は二人一組で行われます。一人が安全を確認しながら、もう一人が作業。余震時の避難場所の確認など日常の調査とは異なります。



企業庁のホームページ
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f27/>



神奈川県モバイルサイト「かなぼけっと」神奈川県営水道のページ
<http://www.pref.kanagawa.jp/mbi/f100012/>